

令和2年度 事業報告

I.法人運営の状況

1.社協運営

少子・高齢化や人口減少が急速に進行し、地域や家庭のつながりの希薄化が進むなか、社会的孤立やひきこもり、子どもの貧困など、地域を取り巻く環境は大きく変化しており、これまでの社会福祉の枠組みでは対応しきれない様々な課題が顕在化しています。

国においては、地域共生社会の実現を目指し、地域住民が世代や背景を超えてつながり、受け手・支え手という関係を超えて支えあう仕組みづくりを進めています。

全国社会福祉協議会においても、「社協・生活支援活動強化方針」を示し、多様化・複雑化する地域課題・生活課題への対応に向けた社協活動のさらなる推進を図っており、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な組織として、その役割を最大限に発揮していくことが求められています。

こうしたなか、住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らすことができる福祉の地域づくりを使命とする美咲町社会福祉協議会は、第2期地域福祉活動計画を策定し、地域住民の主体的な参加により、「ふだんのくらしのしあわせ」づくりに積極的に取り組みました。

また、行政とのパートナーシップの強化を図るとともに、財政運営の安定化のために、内部の組織機構の見直し、介護保険事業の精査、経費の見直し・検討、職員の資質向上のため職員研修に積極的に取り組みました。

令和2年度は、地域福祉推進の中核組織としての自覚と責任の下、地域の生活課題・福祉課題を受け止め、その解決に向けた取組みを、住民、ボランティア、各種団体や行政等関係機関との連携を強化し、地域に住む一人ひとりを尊重し・個性を活かし、共に生きていくことを大切にした共生の地域づくりに努め、コロナ禍でも可能な限り事業・活動を行いました。

また、美咲町で暮らす誰もが、安心して暮らし続けることができるよう通所介護事業・訪問介護事業・居宅介護支援事業・地域密着型特別養護老人ホーム事業の運営にも積極的に取り組みました。

2.役員会等の開催状況

(1) 理事会

開 催 日	場 所	主 要 付 議 事 項
○第1回 2年6月5日(金) 理事10名、 監事2名出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	【会長の専決】 ・美咲町社協令和元年度一般会計収支補正予算について 【議 案】 ・美咲町社協経理規程の一部変更について ・美咲町社協令和元年度事業報告について ・美咲町社協令和元年度一般会計収支決算について ・美咲町社協令和2年度一般会計収支補正予算について ・美咲町社協「評議員選任候補者の推薦について ・美咲町社協評議員選任・解任委員会の開催日時及び議題について ・美咲町社協定時評議員会の開催日時及び議題について 【報 告】 ・美咲町社協の会長、常務理事の職務執行状況について ・第9回美咲町社会福祉大会について ・第2期地域福祉活動計画策定の進捗状況について
○第2回 2年8月21日(金) 理事8名 出席 監事2名 出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	【議 案】 ・美咲町社協令和2年度一般会計収支補正予算について ・第2期地域福祉活動計画について ・美咲町社協「評議員選任候補者の推薦について ・美咲町社協評議員選任・解任委員会の開催日時及び議題について ・美咲町社協9月度評議員会の開催日時及び議題について
○第3回 2年11月25日(金) 理事9名 出席 監事2名 出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	【議 案】 ・美咲町社協令和2年度一般会計収支補正予算について ・美咲町社協12月度評議員会開催日時及び議案について 【報 告】 ・美咲町社協の会長、常務理事の職務執行状況について ・美咲町社協令和2年度中間監査結果報告について

○第4回 3年1月22日(金) 理事11名 出席 監事2名 出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	【協 議】 ・地域密着型特別養護老人ホームあさひが丘の 今後の運営について
○第5回 3年3月5日(金) 理事9名 出席 監事2名 出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	【議 案】 ・美咲町社協令和2年度一般会計収支補正 予算について ・美咲町社協令和3年度事業計画について ・美咲町社協令和3年度一般会計収支予算に ついて ・美咲町社協諸規程の一部改正について ・美咲町社協センター長等の人事について ・美咲町社協3月度評議員会の開催日時及び 議案について

(2)評議員会

開催日	場 所	主要付議事項
○定時評議員会 2年6月24日(水) 評議員14名 出席 理 事 3名 出席 監 事 2名 出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	【会長の専決】 ・美咲町社協令和元年度一般会計収支補正 予算について 【議 案】 ・美咲町社協令和元年度事業報告について ・美咲町社協令和元年度一般会計収支決算に ついて ・美咲町社協令和2年度一般会計収支補正予 算 について 【報 告】 ・第9回美咲町社会福祉大会について ・第2期地域福祉活動計画策定の進捗状況に ついて
○第2回 2年9月9日(水) 評議員13名 出席 理 事 3名 出席 監 事 2名 出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	【議 案】 ・美咲町社協令和2年度一般会計収支補正 予算について ・第2期美咲町地域福祉活動計画について
○第3回 2年12月9日(水) 評議員12名 出席 理 事 3名 出席 監 事 2名 出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	【議 案】 ・美咲町社協令和2年度一般会計収支補正 予算について

○第4回 3年3月24日(水) 評議員 11名 出席 理事 3名 出席 監事 1名 出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	【議案】 ・美咲町社協令和2年度一般会計収支補正予算について ・美咲町社協令和3年度事業計画について ・美咲町社協令和3年度一般会計収支予算について 【報告】 ・美咲町社協センター長等の人事について
--	---------------------	--

(3) 監査

開催日	場所	主要付議事項
元年度 監査 2年5月27日(水) 監事 2名出席 事務局職員3名出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	・令和元年度事業報告書の審査 ・令和元年度資金収支計算書の審査 ・令和元年度貸借対照表の審査 ・令和元年度財産目録の審査 ・その他
2年度中間監査 2年11月6日(金) 監事 2名出席 事務局職員3名出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	・4月期～9月上旬期の法人運営、地域福祉事業、介護保険事業等の業務執行状況について及び予算の執行状況について監査を実施

(4) 職員研修等

開催日	場所	研修内容等
新人研修会 2年7月13日(月) 新人職員 15名出席 発表者 8名出席 事務局 2名出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	・社協とは、地域における社協の在り方、社内連携の必要性 ・権利擁護について ・地域福祉について ・地域包括支援センターについて ・居宅介護支援事業所について ・訪問介護事業所について ・通所介護事業所について ・特養について
第1回役職員研修 2年9月1日(火) 理事・評議員9名出席 策定委員 9名出席 社協職員 37名出席 行政職員 7名出席	林業センター 大会議室	講師:美作大学 社会福祉学科 特任教授 小坂田 稔氏 講義:「これからの地域支援と地域包括ケアシステム」ー地域福祉活動計画による地域福祉推進に向けてー

第2回役職員研修 2年11月5日(木)	中央ふれあいセンター 2階会議室 ※コロナウイルス感染 拡大防止のため延期	講師:美作大学 社会福祉学科 特任教授 小坂田 稔氏 講義:第2期地域福祉活動計画実行にあたる ・評価制度の重要性について ・PDCA サイクルの手法を学び、事業自体の必要性や効果・効率的な運営を図り持続可能な組織体制の構築について
第2回役職員研修 コロナ対応報告会 3年1月13日(水) 会長・副会長2名出席 社協職員 20名出席 行政職員 6名出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	コロナ対応報告会 ・新型コロナウイルス感染発生におけるふりかえり研修会
第3回役職員研修 3年3月23日(火) 会長・副会長2名出席 社協職員 22名出席	中央ふれあいセンター 2階会議室	講師:美作大学 社会福祉学科 特任教授 小坂田 稔氏 講義:第2期地域福祉活動計画実行にあたる ・評価制度の重要性について ・PDCA サイクルの手法を学び、事業自体の必要性や効果・効率的な運営を図り持続可能な組織体制の構築について

Ⅱ．地域福祉事業

(1) 地域福祉活動の推進

1. 小地域ケア会議、小地域福祉活動の促進

日常生活圏のなかでの見守り・声かけ活動、地域での福祉活動をとおして発見された生活課題や困りごとについて話しあい、解決策を見出すための仕組みづくりの促進・充実、さらに解決に向けての活動が進められるように地域住民と美咲町、地域包括支援センター、介護保険事業所との連携に努めました。

■小地域ケア会議開催状況

開催単位:自治会単位 75%開催

中央地区(24自治会)	柵原地区(42自治会)	旭地区(15自治会)
21自治会	25自治会	15自治会
52回開催	62回開催	41回開催

構成メンバー:自治会長、民生委員、常会長、老人クラブ、愛育委員、栄養委員、ボランティア、サポーター、サロン代表者、地域包括支援センター職員
社協職員等(地域ごとに構成メンバーを決定している)

小地域ケア会議開催が難しいところには、サロン活動、コロナ体操、サポーター会合等に参加し情報共有・連携の強化に努めました。また、柵原地域については民生委員地区会(北和気地区・南和気地区・本庁地区)に参加し情報共有、連携の強化に努めました。(開催回数に含む)。民生委員中央・旭・柵原支部の定例会(開催回数に含まない)

■小地域福祉活動推進強化事業

地域の課題やニーズを踏まえ誰もが地域で安心して暮らせる地域福祉活動に取り組んでいる団体(自治会等)を対象に活動が継続的に行われるよう活動助成の支援を行いました。また、今年度からは1項目1万円の助成とし、自治会ごとの福祉活動について細かく情報を把握できるように努めました。その他にも選択項目の中にワンデイカフェを入れることで、自治会とワンデイカフェの連携の強化を促しました。

①助成実績

中央地区(24自治会)	柵原地区(42自治会)	旭地区(15自治会)
17自治会	29自治会	14自治会
【実施内容】 小地域ケア会議16件、見守り活動10件、地域ボランティア活動3件、ふれあいサロン8件、ワンデイカフェ0件、防災2件、子ども・子育て0件、障がい者に関すること0件、高齢者の社会参加3件、その他2件	【実施内容】 小地域ケア会議18件、見守り活動18件、地域ボランティア活動13件、ふれあいサロン17件、ワンデイカフェ3件、防災5件、子ども・子育て1件、障がい者に関すること1件、高齢者の社会参加3件、その他4件	【実施内容】 小地域ケア会議12件、見守り活動8件、地域ボランティア活動4件、ふれあいサロン7件、ワンデイカフェ1件、防災2件、子ども・子育て1件、障がい者に関すること0件、高齢者の社会参加2件、その他0件

申請方式:1項目1万円 最大3項目まで (令和2年度60自治会)

②赤い羽根ちいきふくし活動新聞

地域で取り組まれている様々な福祉活動の報告の場を設け、活動の重要性を再確認や情報共有・活動のさらなる活性につなげることを目的に「赤い羽根ちいきふくし活動新聞」を発行しました。また、取り組みを行われていない地域に対しても働きかけを行うきっかけづくりとして全戸配布を行い、地域づくりの発展に努めました。

【掲載地域・内容】

地区	地域	内容
中央	打穴北	防災持ち寄り会
旭	川北	コロバン体操・いいとも会
柵原	連石	お助け隊・買い物ツアー

配布日 令和3年4月(美咲町広報と同封)

作成数 6,000 部(全戸配布)

2. 小地域福祉活動の支援

子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も、地域で暮らす誰もが身近な場所で、気軽に集い、語り、ふれあい交流のできる居場所づくりや生きがいづくりを支援し、これらの機会をとおして、見守り・声かけの意識の醸成にも努め、お互いに助け、助けられる関係づくりにも努めました。

① ふれあいサロン活動

コロナ禍によりふれあいサロンを運営している代表の方へ向けて、“感染予防の方法”と“通常のサロン活動に代わった取り組み”を記載した「ふれあいサロン開催の手引き」等を作成し、これからのサロン活動に向けての後方支援と意識啓発に努めました。また、ふれあいサロン活動の運営支援のための助成を行い、ふれあい交流促進支援を行いました。

【活動助成費】1団体1万円×115団体(高齢者112団体、児童1団体、障がい児者1団体、難病当事者1団体)

○ふれあいサロンの活動状況

地区名		サロン数	延べ参加者数	備考
中央 (49)	加美地区	17	937人	
	三保地区	12	794人	
	打穴地区	10	390人	
	大井和地区	9	565人	
	男性サロン	1	19人	
柵原 (42)	北和気地区	9	648人	
	吉岡地区	12	584人	
	南和気地区	9	497人	
	本庁地区	8	1,016人	
	飯岡地区	4	449人	
旭	倭文西地区	4	222人	
	西川地区	6	594人	
	井和地区	8	720人	きんちやいサロンは年度途中の立ち

(23)				上げのため次年度助成とする
	江与味地区	4	252人	大山ふれあい会と恋来いサロンは同一会場のため助成金は2団体で1万円とする
	手芸クラブ	1	337人	
子育てサロン		1	199人	
障害児者支援サロン		1	0人	
笑いのサロン和(難病)		1	68人	
計		117	8, 291人	

○ふれあいサロン開催の手引きの作成

サロンを運営している代表の方を対象に、新型コロナウイルス感染症対策を行ないながら継続的にサロン活動を行なってもらえるよう情報提供と後方支援を目的に作成しました。

【内容(A4用紙 6ページ表紙含む)】

1. 新型コロナウイルス感染拡大予防チェックシート
2. ふれあいサロン活動における手引き
3. 通常のサロンに代わった取り組み

○アルコール消毒液の配布 希望団体:86団体

○ふれあいサロン代表者研修会の開催

サロン代表者を対象に、活動の情報交換・課題解決に向けた情報提供を目的として開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、旧小学校区単位で時間を区切り、短時間で開催しました。また、コロナ禍におけるサロン開催状況や住民の皆さんの不安な声等アンケート調査を実施しました。(7月:回収率 71%、11月:回収率 91%)

【3 地域別代表者研修】

実施日	地区	参加者数	内容
令和2年 7月2日(木)	旭地区	21名	・助成金等についての事務連絡、相談会 (美咲町社会福祉協議会、地域包括支援センター、美咲町役場健康推進課)
令和2年 7月3日(金)	柵原地区	42名	・助成金等についての事務連絡、相談会 (美咲町社会福祉協議会、地域包括支援センター、美咲町役場健康推進課)
令和2年 7月6日(火)	中央地区	49名	・助成金等についての事務連絡、相談会 (美咲町社会福祉協議会、地域包括支援センター、美咲町役場健康推進課)

【3 地域合同研修会】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から合同研修会を中止とし、“感染予防方法”や“新しいカタチでサロン活動”を行っている団体取材し、“コロナに負けん！ふれあいサロンのヒント集”を作成しました。

【内容(A4用紙 8ページ表紙含む)】

1. 『サロン一覧表とサロンの開催状況についてのアンケート集計』 2ページ

3地域のサロン開催状況や各質問項目でどのような声が上がっているのかを集計し、分析した内容を記載してサロン活動の現在の状況を周知しました。

2. 『新しいサロンの取り組みを行っている団体紹介』 2ページ

3地域それぞれで創意工夫をこらした“新しいカタチのサロン活動”をされている3団体を取り上げてどのような取り組みをされているのか取材しました。また、代表者や参加者からの想いを合わせて取り入れました。

3. 『新型コロナウイルスの感染予防について』 3ページ

現在も新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあるため、今一度サロンや会議等を行う際に注意する点を「新型コロナウイルス感染症対策 ふれあいサロン開催の手引き」の内容を引用し、周知しました。

② 居場所づくり応援プログラム「ワンデイカフェ」開設支援

空き家や空き店舗、個人宅、コミュニティ等を活用して、町内に5ヶ所の固定のワンデイカフェが継続開設され、開設にあたっての相談・助言等を行い、気軽に集える場・悩みが相談できる場・役割が持てる居場所づくりができるよう活動支援を行いました。

○ワンデイカフェ開店状況

地域	団体	場所	頻度	備考
中央	にこにこカフェ	打穴西公会堂等	毎月1回	おしゃべり、喫茶、体操、手芸、各種ミニ講座等。
柵原	楽楽カフェ	公会堂・空き家等	毎月1回	
	みいちゃんの家	空き家	常時／定例日毎月1回	
	サンデイカフェ	公会堂	毎月1回	
旭	えよみ友楽館	空き家・空き店舗	毎週1回(月曜日)	
	如風(集いの家)の会	空き家等	毎月1回	

3. 障がい者支援事業

○障がい者アート～わたしの世界～in みさき

芸術活動を通して、障がいのある方が主体となって地域で活動していける「場」と地域住民と交流できる「場」を創出し、障がいのある方が生きがいのある生活を送れるよう地域の方々と連帯して自立した社会参加を行えるよう事業を実施しました。また、自分たちの作品を町内外で巡回展示したことで日頃の活動意欲の向上にも繋げる支援を行いました。

日時	令和2年8月29日(土) 10:00～12:00 ※午後の部は中央地域で予定していたが参加者がいなかったため中止とした。
場所	柵原総合文化センター
参加者	障がいのある方6名・付き添い3名・実習生2名・職員2名・講師2名 <u>合計15名</u>
内容	夏だ！トウモロコシできたよ！ 講師：マルヤマヒロコ&ワタナベヒロミ 紙粘土と新聞紙を使ってオリジナルのトウモロコシを作ろう！

障がい者アート展 (町内巡回展示)	美咲町役場本庁舎 玄関ホール(令和3年1月8日～1月15日) 旭岡書館(令和3年1月30日～2月12日)
令和3年1月～令和3年3月	柵原総合文化センター(令和3年2月26日～3月12日)

○障がいのある方が学べる大学～みしゃモンカレッジ～

障がいのある方が主になって地域で活動していける「場」を、本人や家族だけでなく地域住民、障がい者福祉施設、行政と連携し、障がいのある方々に多くの夢をもってもらい、いきいきとした生活を送ってもらえる事を目的に、地域で「学べる場」「体験できる場」として3回シリーズでみしゃモンカレッジの開講を企画していましたが、**新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、開催を中止**としました。(平成29年度1期生6名・平成30年度2期生6名・令和元年度3期生2名)

○障がい者支援「笑顔のお届け便」

多くの住民に「赤い羽根共同募金」を啓発するために、赤い羽根商品を障がい者福祉施設・団体に作製していただき、地域で行われる行事等で募金活動を行い、障がい者福祉の向上及び住民同士の支えあい活動を地域全体で盛り上げていくとともに、事業や障がい者施設・団体の啓発に努めました。また、直接障がいのある方と地域住民が触れ合う場として「笑顔のお届け便出店」・「笑顔の配達便」を行いました。売り上げ合計:122,404 円

●各障がい者福祉施設や作業所等が提供する商品を、地域住民が募金することにより、一定の割合が赤い羽根共同募金となる。みしゃモンシール(1シート100円)を商品に貼る。

参加事業所・団体	商品	実施場所
さくらの実・はなまるハウス・久米福祉会・誕生寺支援学校・ほっとスペースすみれ・ふりーすたいるわくわく事業所・障がい者ネットワーク ※1日に津山より応援(DEAI 工房母恵夢・ワークスみのり・らくがき) ※メンタル柵原・さつきの丘はコロナ禍のため欠席	パン・コーヒー・マフィン・焼きそば・おこわ・赤飯・フランクフルト・焼き物・アクセサリー・ドライフラワーなど	【笑顔のお届け便出店】 日時:R2.9/29～10/1(3日間) 時間:11:00～13:00 場所:美咲町役場第二分庁舎 障害者ネットワーク共催(協力) 【笑顔の配達便】 日時:R2.9/29～10/1(3日間) 時間:11:00～12:00 【農協・商工会・郵便局・警察署・役場】

○当事者団体の活動支援

障害児者、介護者家族等の当事者組織団体の活動支援、連携を図っていくことを目的に、活動支援に取り組み、在宅介護者・障害児者本人の社会参加の場、勉強できる場、精神的ゆとりを生み出す機会づくりなどあらゆる面での支援につながるよう努めました。

【活動支援状況】

レインボータートル (本人の会)	○小委員会 開催中止 ○会長・副会長会 6月26日(金) 2月19日(金)	○活動内容 心身に障がいがあっても、“自分らしく生きていこう”“自らの力を発揮していこう”という思いから、レインボータートル(本人の会)を立ち上げ、仲間同士でレクリエーション活動や映画鑑賞や買い物、またカラオケ・ボーリング大会等、自分たちがやりたいことを企画実行し、楽しく活動をしています。また、美咲町社協等の事業運営にも協力・支援を行い、積極的に地域交流活動も行っています。
---------------------	---	---

		会長・副会長会議にて活動の見直しと取り組みについて協議を行いました。 ※コロナウイルス感染症拡大のため活動は中止となりました。
美咲町介護者の会	認知症の方や要介護の方で介護が必要な高齢者、障がい等により在宅で介護をしている人、介護を経験(卒業)した人、介護に関心のある人が集まり、お互いの悩みや体験を共有し、また体験や情報を分かちあう介護者相互の交流の会です。 開会日:毎月第1木曜日開催 会 場:中央公民館・柵原文化センター・南和気荘・旭町民センター他 会員相互が協力し合い会の運営を実施	
笑いのサロン和 (なごみ)	病を抱えている本人や支えている家族が、誰にも相談ができず自分で抱え込んでしまった時の心のよりどころ(居場所)として、「気軽に立ち寄れて話や相談ができる場」を目指して活動をしています。 開催日:毎月第4水曜日 13:30~15:30 会場:町内の各所(中央公民館等)	

4. ボランティア活動の推進

住民のボランティア活動への参加促進を図り、地域課題に対して「何か自分にできることはないか」という住民の気持ちをかたちにしてできるきっかけづくり・機会づくりとして、人材育成のためのボランティア養成講座、ボランティア活動の情報提供、ボランティアコーディネート、ボランティア保険加入等の推進に努めました。

〔美咲町ボランティアセンターの取り組み〕

① いまこそ！つながろう！美咲の輪！第1弾企画 福祉施設で使用するタオルの募集

新型コロナウイルス感染症対策のため、町内の福祉施設で使用するタオルを募集したところ、住民の皆様、企業から多数のタオルを寄贈いただき、町内の福祉施設に寄贈させていただきました。福祉施設からはありがとうメッセージをご記入いただき、社協だよりにて掲載しました。

企業:第一生命保険株式会社岡山支社津山ブロック様

② いまこそ！つながろう！美咲の輪！第2弾企画 マスクでつながるボランティア大作戦

コロナ禍でマスク不足となっている中で、町民の皆様から「自宅でマスク作ってるよ！」「何か協力したい！」「こんな時こそ協力したい」という声が続々と上がってきました。その声をカタチにするため美咲町ボランティアセンターでは、手作りマスクボランティアさんを募集し、おうちでできるボランティア活動を企画し実施しました。出来上がったマスクは、主に高齢者、児童、障がい者、マスクがなくて困っている方などにお届けしありがとうメッセージをご記入いただき、社協だよりにて掲載しました。

〔手作りマスクおよび材料の提供〕

(ア)自宅で作った「手作りマスク」提供 2. 布やゴムなど「マスクの材料になるもの」提供

●受付場所 中央保健センター玄関/旭総合支所/柵原総合支所

●受付期間 5月7日~6月15日(平日に限ります) ●受付時間 9:30~16:30

〔材料があればマスクの作製をしてくれる〕

下記の日時にてボランティアの皆さんに材料を提供しました。

●日時:5月20日(水)10:00~12:00まで ●場所:中央保健センター前

〔手作りマスクの配布〕

●場所 中央保健センター玄関/旭総合支所/柵原総合支所

●期間 6月1日(月)～6月19日(金)(平日に限る) ●時間 9:30～16:30

[子ども用手作りマスクの配布]

●場所 中央保健センター玄関/旭総合支所/柵原総合支所

●期間 7月1日(水)～7月17日(金)(平日に限る) ●時間 9:30～16:30

※子ども用マスクは、おおよそ3歳～12歳までが使っていただけるようなサイズを準備しました。

※お1人様2枚までとさせていただきます、なくなり次第終了させていただきます。

【ご寄贈してくださった皆様】 集まった手作りマスク 合計:約1466枚

「手作りマスク」

株式会社 トンボ 美咲工場様・津山信用金庫様・本田正子様・美咲町介護者の会小林夏子様、
菅芳信様・水野定子様・花房弘美様・友楽館様・美咲町介護者の会小林夏子様・菅芳信様・青野
高陽様・日下ゆりあ様・住民ボランティア匿名希望者様 (順不同)

「マスクの材料になるもの」

0867合同会社 様から「布」、三金や 様から「ゴム」、長安寺 様、興禅寺 様、高福寺 様から「さら
し」、匿名希望者様 (順不同)

③ いまこそ！つながろう！美咲の輪！

第3弾企画 みんなの想いをつなげよう♡元気！支えあいメッセージ募集

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、いろいろな活動が自粛されています。そこで、町内の皆さんが、元気になれるメッセージを募り、人から人へメッセージをつなぐことで、孤立防止や地域貢献活動につながることを目的とし実施しました。届いたメッセージは美咲町ボランティアセンター掲示板・社協だより・ホームページ・みさきタウンテレビなどで町民の皆さんへメッセージをお届けしました。届いたメッセージ合計78件

④『ボランティア学習動画～ボランティアスクール～』

津山市社会福祉協議会と協働してボランティア活動をもっと身近に取り組んでもらえるために『ボランティア学習動画～ボランティアスクール～』を作成しました。子どもから高齢者まで幅広い年代の方にボランティアについて学びを深める機会をつくり、美咲町内全体のボランティア活動の活性化を図りました。

●内容

○1時間目 「ボランティアってなに？」

講師:NPO 法人ファミリーリングあゆむ 飯田純子さん/出演者:美作高等学校 福祉コース 2 年生

○2時間目 「自分に合ったボランティア」

出演者:レインボーメイト津山 智和さん/美作大学ボランティアセンターの学生 2 名

○3時間目 「相手の立場に立ったボランティア」

協力施設:・中央福祉会 白寿荘/津山福祉会 特別養護老人ホーム 高寿園

出演者 :美作高校福祉コース実習生 2 名/白寿荘利用者 ・高寿園職員

○4時間目 「ボランティアをしたいと思ったら」

出演者:美咲町配食ボランティア 村上さん、西本さん/美咲町社協職員/津山市社協職員

●対象 津山市、美咲町の中・高生及び夏のボランティア体験事業において毎年呼びかけている鏡野町、久米南町、勝央町、美作市、真庭市の高校生および美咲町内の住民。

●実施方法 YouTubeに動画を投稿し(URLクリック時にのみ見られる設定で限定公開をする。)、URLを津山市社協HPに掲載することで、チラシに記載しているURLから自宅にいても動画を見ることができます。

●ボランティアスクール受講後について 「ボランティアノート」に記入後、津山市・美咲町社協及び周知先の社協に提出した学生に対して、修了証をお渡しました。

⑤ 災害ボランティア養成講座・災害ボランティアセンター設置演習

近年、自然災害で被災した地域では、社協が災害ボランティアセンターの運営にあたり、地域内外のボランティアと共に被災地の復旧・復興に向け被災者に寄り添った支援活動を行うことが一般化してきました。本会においても、いつ起こるかわからない災害に備え、災害時に必要な被災者支援活動をオール美咲町社協で考えていく必要があることから本年度も標記設置訓練を企画し実施しました。また、吉備中央町社会福祉協議会と2町合同で企画・開催し、近隣市町村との連携に努めました。

1 開催日時 令和2年12月20日(日)9:30～ 15:30

2 開催場所 吉備中央町農業振興センター【吉備中央町豊野1-2】

3 参加者 (1)会長・副会長2名 (2)事務局3名

(3)地域福祉課/地域包括支援センター7名 (4)かしのき1名

(5)美咲町役場5名(6)吉備中央町社協・吉備中央町21名

合計 39 名

4 内 容 AM 災害ボランティアセンターの機能について(講義)

PM 災害ボランティアセンター設置訓練(演習)

5 講 師 日野ボランティア・ネットワーク

森本智喜氏

⑥ 夏のボランティア体験事業『ボランティア学習動画～ボランティアスクール～』

夏のボランティア体験(施設ボランティア)は、**新型コロナウイルス感染症拡大のため中止**としました。しかし、代替えとして、おうちでできる「学生向けボランティア学習動画」を津山市社協と協働し作成しました。毎年実施している「夏のボランティア体験事業」では、事前学習に十分に時間が取れず、ボランティアについてしっかり学ぶことができないまま、体験を実施していた現状がありました。今回の「学生向けボランティア動画」を作成することで、“ボランティア”とは何かを知ってもらう機会をつくり、ボランティアの意義やボランティアを行う上で重要な自主性、社会性等を伝えていくことができました。

ボランティアスクール取り組み状況
柵原中学校(2人)、旭中学校 (13人)、真庭高校落合校地(7人)、林野高校(1人)
合計:4校 (参加人数23人)

⑦ ジュニアボランティア養成講座

ボランティア活動に関心のある小学生(4年生～6 年生)を対象に、本講座から地域でボランティアとして何ができるかを共に考え、また実践的ボランティア活動の機会を設け、身近な地域での自主的なボランティア活動につなげることができました。また、社会福祉についての理解を深めると同時に、さまざまな出会いの中から新たな発見や「ともに生きていく」ということについて考えることができるようその機会を提供に努めました。

実施日	場所	内容
令和3年 2月27日(土) 10:00～12:00	柵原図書館 受講者 5名	【第1回】 テーマ:「ボランティアを楽しく学ぼう!」 講師:特定非営利活動法人岡山 NPO センター 西村 こころ氏
3月6日(土) 10:00～15:00	ふれあいセンター 柵原地域 受講者 5名	【第2回】 テーマ:「ジュニアリポーターになろう～自分でみつける! ボランティアのカタチ～」 町内のボランティア活動されている先輩のお話や地域の居場所についてレポートし、実際のボランティア活動について学び、取材しました。その取材内容をみさき TV や社協だよりで町内の皆さんに紹介してもらいました。実際に地域の活動者の声を聴くことで、これから自分でできるボランティアを見つけ、日頃から積極的にボランティア活動に取り組んでもらいたいと思います。 取材先:配食ボランティア:柵原 森廣静江さん・角本眞一さん 福祉出前講座ボランティア:旭 山本修さん・山本ちえこさん 配食利用者:柵原 車田芳文さん・車田ミヤ子さん

⑧ ボランティア活動のコーディネート状況

登録者数	活動件数/活動者数
登録者数は再度見直し中	福祉教育ボランティア 4 件/9 名

⑨ ボランティア保険加入状況

種別	加入団体数	加入者数(被保険者数)
ボランティア活動保険	29団体	1,114人
ボランティア行事用保険	10団体	786人
送迎サービス補償	2団体	173人
福祉サービス総合補償	1団体	延べ594人

5. 福祉教育の推進

人を思いやり、お互いに支えあい・助け合う心を育み、自分と違う立場の人と認め合い、人の気持ちに共感できる力や自分の考えを表現する力、考えを共有し実行につなげていく力等の「ともに生きる力」をつけていく意識の醸成に努めました。

○小学校福祉教育

実施日	実施学校	対象	内容
令和2年 10月22日(木) 10:15～12:45 10月27日(火) 10:45～12:25	旭小学校	6年生	「高齢者社会を共に生きる」 ①高齢者疑似体験 ②認知症サポーター養成講座 ※美咲町健康推進課・地域包括支援センター協働
令和3年 2月8日(月) 13:45～15:15	柵原東小学校	4年生	① 高齢者疑似体験
令和3年 2月16日(火) 13:45～15:15 3月2日(火) 10:30～12:15	美咲中央小学校	4年生	① 手話講座 ゲストティーチャー:山本修氏、山本ちえこ氏 ② 車いす体験 ゲストティーチャー:藤本満春氏
3月17日(水) 13:00～14:30	柵原西小学校	4年生	① 手話講座 ゲストティーチャー:山本修氏、山本ちえこ氏

6. 子育て支援事業

地域のふれあいサロン活動と同様に子育て世代の居場所の活動や子育て支援事業は、従来の進め方では対応が難しい状況が続いています。そういった状況の中で、「みさきおやこひろば『ほっと・るーむ』」の開催は今年度見合わせとなりました。

現在美咲町には子育て世代の居場所は柵原母子クラブの「ひよこクラブ」がありますが、そこには他のふれあいサロンと同様に『新型コロナウイルス感染症対策 ふれあいサロン開催の手引き』を配布するなど、情報発信に努めました。

その他子育て情報の発信の仕方については、「ほっと・るーむ運営委員会」をはじめ、他の事業

や会議の際に子育て世代の意見の収集に努めており、今後の情報発信に活かしていきます。

7. 社会福祉大会の開催

社協の活動理念のもと子どもから高齢者・障害者等、誰もが生き活きと暮らすことができる共生の地域づくりに努め、社会福祉の向上にご尽力された方を顕彰し感謝の意を表すため、「第9回美咲町社会福祉大会」を開催に向け準備を進めていましたが、**コロナウイルス感染拡大防止のため中止**としました。

日時:令和2年10月4日(日) 13:00 ～ 15:30

場所:旧打穴小学校体育館

式典:美咲町社会福祉協議会会長表彰他

講演:『地域共生社会に向けた地域福祉・地域づくり』

講師:美作大学社会福祉学科 特任教授 小坂田 稔 氏

※コロナウイルス感染拡大防止のため中止

8. 共同募金事業の推進

美咲町共同募金委員会の行う共同募金への運動及び配分助成事業を計画に沿って行うなか、戸別募金の減少傾向に歯止めをかけ、募金活動を活性化するために、各種事業を展開しました。また、地域福祉の推進を目的とする共同募金に住民理解を得られるよう、募金手法や配分助成事業の公募・助成審査・決定に関する情報の開示、集められた募金の使途の明確化等、各種事業の機会を活用して住民と顔を合わせながら伝えるよう努めました。

①美咲町共同募金委員会運営委員会および審査委員会

	開催日時	協議内容
監査	5月27日(水) 15:00～16:00	・平成元年度共同募金事業報告・決算、監査
交付式	6月5日(金) 15:10～15:40	・令和2年度赤い羽根共同募金助成交付式 交付団体:ほっとスペースすみれ
運営委員会 (第1回)	6月5日(金) 15:40～16:40	・令和元年度共同募金事業報告・決算、監査について
運営委員会 (第2回)	8月21日(金) 15:40～16:40	・令和2年度赤い羽根共同募金運動の推進について 赤い羽根共同募金運動の展開について 赤い羽根共同募金運動の事務処理について 美咲町共同募金助成公募(令和2年度分)について
運営委員会 (第3回)	1月22日(金) 15:00～15:15	岡山県共同募金会美咲町共同募金委員会「審査委員会」の 審査委員の一部選任替えについて
審査委員会	令和3年 2月24日(水) 13:30～15:30	・令和3年度赤い羽根共同募金助成事業助成審査について
運営委員会 (第4回)	令和3年 3月5日(金) 15:30～17:00	・令和3年度 赤い羽根共同募金助成事業助成審査結果について ・令和3年度赤い羽根共同募金事業計画について

② 赤い羽根共同募金 募金運動について

10月1日から12月31日を運動期間として、各種募金運動を展開しました。

一般募金の実績 (単位:円)

(目標額 2, 460, 000)

募金種別	金額
戸別募金	1, 648, 083円
職域募金	247, 980円
企業募金	397, 854円
イベント募金	122, 674円
その他の募金	172, 372円
計	2, 588, 963円

歳末たすけあい募金の実績 (単位:円)

(目標額 1, 500, 000)

募金種別	金額
戸別募金	1, 477, 422円
その他の募金	25, 809円
計	1, 503, 231円

募金運動	主な募金方法、募金ボランティア
共同募金運動 (期間:10/1~12/31)	・戸別募金(常会長、連絡協力員による。世帯を対象) ・職域募金(職員を対象) ・企業募金(企業を対象) ・イベント募金(各種イベントによる) ・その他募金(募金箱、笑顔のお届け便、募金グッズ等)

森 田 商 店	(株) 旭 石 油 店	(有) 遠 藤 建 設	高 田 モ ー タ ー ス
あいでんフジワラ店	理 容 島 田	旭 生 コ ン	(株)岡山食彩企画 まきばの館
西 川 タ ク シ ー (株)	大 崎 商 店	アサヒ防災工事株式会社	江 与 味 製 材 (株)
石 井 善 二 郎 商 店	旭 木 材 株 式 有 限 公 司	有 限 公 司 丸 美 屋	0868桃太郎商事株式会社
(有) 美 咲 フ ァ ー ム	(有)イワサキストアー	ア ト ム 美 咲 店	亀 乃 甲 診 療 所
本 田 た ば こ 店	関 医 院	本 田 事 務 所	お ぎ フ ォ ト
太 田 麴 店	タイラファイナンスパートナー	(株) 美 咲 物 産	ビ ュ ー テ ィ ー サ ロ ン ・ カ ッ ヤ マ
サ ロ ン ・ ド M y	ア ル ス ヘ ア ー	にぎわい市場三金や亀甲店	(有) 八 田 鉄 工 所
池 上 美 容 室	テ ク ノ ス 株 式 有 限 公 司	(株) 鈴 鹿 製 材 所	(有) 日 神 山 内 装
日 本 緑 研 (株)	美 絹 糸 院	美 咲 町 物 産 セ ン タ ー	株 式 有 限 公 司 オ ー エ ス エ ー
株 式 有 限 公 司 P I C	特定非営利活動法人やまの さくら の 実	(株)亀甲マイカーセンター	株 式 有 限 公 司 久 米 観 光 バ ス
(有) 三 協 緑 産	オ ク デ ヤ 運 送 (株)	み さ き の た ね	岩 野 不 動 産
有 本 観 光 バ ス (株)	(有) 山 一 製 作 所	中 央 ア ル ミ 工 業 (株)	村 上 オ ー ト セ ン タ ー
(株) 中 央 建 設	(株)中央ブチカントリークラブ	ボ ー ン ス 株 式 有 限 公 司 岡 山 工 場	(有) 内 田 石 材 店
小 島 梨 園	理 容 た い ら	(有) 坂 手 商 店	つ る や 呉 服 店
美咲ブルーファーム寒竹	ハリキ精工株式会社岡山工場	農 事 組 合 法 人 ア グ リ モ モ	ザ ・ オ ー ク レ ッ ト ゴ ル フ ク ラ ブ
菊 井 歯 科 医 院	障がい者支援施設さやかなる苑	ケ ア ハ ウ ス 百 壽	(株) マ ル ケ イ 工 業
山 下 ぶ ど う 園	(有) 寒 竹 建 設	(株) タ ケ チ 柵 原 工 場	(株) 寒 竹 工 務 店
や さ い 畑	(有) ア イ ミ ッ ク	(株) 下 山 組	高 山 産 業 (株) 柵 原 支 店
日本興業(株)柵原工場	(株) 野 上 石 油 店	柵 原 オ ー ト セ ン タ ー (株)	(有) 稲 家 石 材
(株) ヒ カ リ テ ッ ク	田 口 医 院	(有) 脇 石 油 店	松 尾 設 備 工 業 (株)
(有) 直 原 商 会	K i t o B i t o	ト ラ ヤ ラ ン ド リ ー	鈴 鹿 モ ー タ ー ス
有 限 公 司 久 米 産 業	石 戸 歯 科 医 院	(株) 戸 板 組	つ ぼ や
(有) 山 荘 や な は ら	ス ー パ ー ひ と み	(有) 柴 原 石 油 店	(株) デ ィ サ ー ビ ス み さ き
(株) 大 阪 合 成 有 機 化 学 研 究 所	D O W A エ フ テ ッ ク (株)	(有) 昭 和 堂	(医) 三 憲 会 柵 原 病 院
(株) ト ン ボ 美 咲 工 場	タ ナ カ 美 容 室	H a i r L e a f	(株) 月 の 輪 建 設 工 業
(有) 万 代 土 建	鳥 越 建 具 店	(有) 梶 尾 建 設	卯 根 倉 鋳 業 (株) 西 部 事 業 所
エコシステム山陽株式会社	(有) 壺 坂 自 動 車		

募金にご協力いただきました企業さま(110 企業)

○手づくり募金箱大募集！！～わたしのまちの赤い羽根募金箱～

募金箱の設置にご協力いただいた企業・公共施設のみなさま

赤い羽根共同募金グッズご購入にご協力いただいた企業・団体・施設のみなさま

その他、多くのみなさまにグッズをご購入いただきました。ご協力ありがとうございました。

募金の使途や地域への還元のしくみをより幅広い世代へ周知し、また募金実績向上につながることを目的に、新たな募金グッズを制作し、寄付者の開拓に努めました。

みしゅモンオリジナルトートバッグ/ペンケース(さくらの実とコラボ)

アニマルストラップ/木製ドアオープナー/木の葉のブローチ/木製鉛筆立て/木の枝のボールペン
 干し芋(はなまるハウス)/牛乳パックで作ったはがきとしおり(メンタル柵原) など

住民が自発的に行う社会貢献活動を支援するため、ボランティア団体やNPO法人が行う福祉活動等に対し公募方式により助成を行いました。また、美咲町共同募金委員会の行う共同募金運動及び配分助成事業を計画に沿って実施しました。

美咲町内で、火災等で被災した住民に対し災害見舞金を支給しました。また、国内での自然災害等が発生した場合、岡山県共同募金会と連携のもと義援金の募集等に努めました。

(美咲町共同募金委員会より見舞金1件/岡山県共同募金会より見舞金2件)

社協の地域福祉事業活動の推進の財源として活用し充実に努めました。

普通会員			特別会員			ふるさと会員		
件数	金額	口数	件数	金額	口数	件数	金額	口数
282	398,000	398	61	243,000	81	1	3, 000	1
合計 644, 000								

(2)生活支援体制整備事業

住み慣れた地域で生活を継続していくために、高齢者の日常生活における生活支援・介護予防について、多様なサービスの提供体制など基盤整備を構築するため、地域において支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して、支援体制の充実・強化に努めました。

1. 生活支援に関する情報収集と課題把握、多職種との連携

① 小地域ケア会議をはじめとする地域包括ケアシステムを構築している会議への参加

(1) 小地域ケア会議

(2) 地域ケア会議・地域包括ケア会議

以上の会議に参加もしくは参加した地域担当との情報共有を行い、地域にある生活ニーズの把握に努めました。

② ボランティアセンターとの連携と情報共有

美咲町内にある生活支援に関係する社会資源の情報集と情報共有を行い、社会資源の見える化に向けて検討を行いました。

③ 各専門職や行政機関が連携を行う場への参加

(1) 介護・医療連携協議会の部会への参加(毎月第2水曜日開催)

多職種・行政機関との連携を図るため介護・医療連携協議会の部会に参加し、各活動状況の報告を行った他、活動の中から見えてきた課題の共有・協議を行いました。

(1) 個別ケア会議への参加(毎月開催 4月5月9月1月3月に参加)

要支援者に対する支援の検討、現在ある社会資源の活用方法の検討を行うため個別ケア会議に参加しました。

(2) 地域課題共有会議への参加(6月9月に参加)

地域にある課題の解決に向け、地域みらい課が行う地域課題共有会議に参加しました。

(3) 生活支援コーディネーター定例会への参加(4月6月7月9月3月に開催)

普段からの情報共有に加え、定期的に事業の進捗状況や今後の計画を協議するための会議に参加しました。

④ 地域の中で行われる会議等への参加

新型コロナウイルスの流行に伴い、地域の中での総会等の開催が中止・縮小したことから総会等への参加はありませんでしたが、防災会議等への参加や自治会長をはじめとした地域の役員の方と情報共有を行い情報収集に努めました。

2. 美咲町全体の生活支援体制整備のサービスの資源開発を推進

① 配食サービスの普及、配食ボランティアの育成

(1) 美咲町配食サービス事業の推進

以前よりさやかなる苑と協働して行っている配食ボランティアの活動支援に加え、8月より美咲町社会福祉協議会で配食サービス事業を受託し、かしのき荘にて生活支援サポーター・地域のボランティアと協働する形で配食支援が開始されました。その他、近隣市町で配食事業を行っている配食事業者と美咲町内での事業展開に向けての情報共有をしたのち、中央地域デイサービス事業所との連携に向けて協議・試食を行いました。

【さやかなる苑配食サービス実績】

配食ボランティア数	16 名 (サポーター及び、配食見守りボランティア登録者)
食数	1 日 5 食まで (夕食のみ)
配食範囲	さやかなる苑より 15 分圏内 (吉岡地区、藤原まで)
配食可能日	月曜～金曜日
自己負担 (弁当料)	400 円 (配食利用者が負担、さやかなる苑が直接集金)
サポーターへの報酬	サポートふ・く・しのポイント制を利用 財源は町の配食事業を活用し 1 件あたり 500 円 100 円はさやかなる苑の事務費、400 円はポイントでサポーターへ社協から渡している。
実績数	551 回

【かしのき荘配食サービス実績】

配食ボランティア数	11 名 (サポーター及び、配食見守りボランティア登録者)
食数	1 日 5 食まで (昼食のみ)
配食範囲	かしのき荘より 15 分圏内
配食可能日	月曜～土曜日
自己負担 (弁当料)	400 円 (配食利用者が負担、かしのき荘が直接集金)
サポーターへの報酬	さやかなる苑と同様
実績数	55 回

(2) サポートふ・く・し事業を活用しての買い物支援・安否確認

旭地域ではサポートふ・く・し事業を活用し、みち停あさひから利用者宅へお弁当を届ける買い物支援の形で配食ボランティアの活動を行いました。

【サポートふ・く・しを活用した配食ボランティア活動実績】

配食ボランティア数	9 名 (サポーター及び、配食見守りボランティア登録者)
食数	3 食まで (昼食のみ)
配食可能日	月曜～日曜日
自己負担 (弁当料)	400 円 (配食利用者が負担)
サポーターへの報酬	サポートふ・く・し事業要綱に沿って計算 10 分 / 100 円 + 交通費をサポーターへポイントで社協から渡している。
実績数	103 回

② 通いの場立ち上げ支援・運営支援を行い、美咲町内の介護予防の推進を図る。

(1) 新規立ち上げを行った地域

地域	団体名	会場	開催日時	訪問回数	対象
柵原	北和気健康の集い	北和気コミュニティハウス/羽仁公会堂	毎月第2・4月曜日 10:00～ 第1・3火曜日 10:00～	11 回	介護予防交流 活性化事業

	スポレク柵原	柵原総合支所	毎週水曜日 10:00～	2回	介護予防交流 活性化事業
旭	小山きんちゃ いサロン	小山公会堂	毎月第1水曜日 10:00～	2回	ふれあいサロン

今年度介護予防を目的に新たに立ち上げをしたのは上記の3か所でそれぞれに対して立ち上げ支援を行いました。その他、まだ立ち上がっていない地域に関しては小地域ケア会議などの場を活用し、地域のニーズの把握を行い、活動についての検討を促しました。

※小山に関しては、昨年度より美咲町介護予防交流活性化事業としての立ち上げを含め、介護予防に取り組める居場所づくりの検討を行いました。地域の社会資源の状況を踏まえた結果、月1回ふれあいサロン活動として介護予防に取り組む居場所の創出の支援を行いました。

<支援内容>

- ・地域・団体の状況に沿い、介護予防の取り組みが行えるよう支援者と協議
- ・自主的な活動の立ち上げが行えるための相談支援
- ・通いの場の運営についての相談支援
- ・行政配布のアルコール消毒液、フェイスシールドの配布
- ・県や町からの注意喚起、感染症予防対策の啓発

(2) 継続して開催を行っている場所に対する運営支援

【週1回開催地区に対する支援】

地域	団体名	会場(地域)	開催曜日	訪問回数	備考
柵原	八神・塚角元気村	塚角コミュニティハウス	毎週火曜日	6回	
	高下通いの場	高下公会堂	毎週水曜日	4回	
	飯岡地区通いの場	晴れの国岡山農業協同組合飯岡支店跡地	毎週金曜日	32回	鍵社協借り受け
	さつき通いの場	久木コミュニティハウス	毎週金曜日	5回	
	南和気通いの場	南和気コミュニティハウス	毎週木曜日	25回	
中央	錦織通いの場	錦織ふれあい館	毎週月曜日 毎月第4木曜日	8回	
	打穴上通いの場	打穴上集会所	毎週火曜日	7回	
	打穴通いの場	打穴西公会堂 普光寺	毎月第1金曜日 (ワンデイカフェ) 第2・4火曜日 (コロバン体操)	2回	

			毎月第3火曜日 (写経)		
	打穴北通 いの場	大谷コミュニティ 定国公会堂 秋政公会堂	毎週水曜日	5回	
	大坪和通 いの場	大坪和老人憩 いの家/大坪和 ふれあいプラザ	毎週金曜日	9回	
旭	栃原通い の場	揚名会館	毎週水・土曜日	5回	
	上口通い の場	上口公民館	毎週水曜日	6回	
	西川健や かクラブ	西川コミュニティ センター	毎週月曜日	7回	
	みなみ通 いの場	南公民館	毎週土曜日	3回	
	坪和元気 ハツラツ 通いの場 協議会	坪和コミュニティ センター	毎週水曜日	7回	
	西坪和通 いの場	西坪和公民館	毎週火曜日	0回	令和2年度 開催なし
	江与味に こにこ会	江与味コミュニ ティセンター/友 楽館	毎週月・金曜日	8回	
	6時だよ全 員集合	滝の畝公民館	毎週土曜日	6回	

〈支援内容〉

- ・月に1回程度巡回し、参加者の生活状況・ニーズ把握
- ・通いの場の運営についての相談、アドバイス支援
- ・協議会への支援
- ・行政配布のアルコール消毒液、フェイスシールドの配布
- ・県や町からの注意喚起、感染症予防対策の啓発

【月1回～2回健康体操等活動している地区に対する支援】

地区	開催場所	開催曜日	訪問回数	備考
旭	江与味大山ほたる会館	第3土曜日	3回	1回／月開催
中央	打穴中老人憩いの家	第4水曜日	4回	1回／月開催

〈支援内容〉

- ・通いの場の運営・継続についての相談支援
- ・自主的な活動を行うための相談支援
- ・行政配布のアルコール消毒液、フェイスシールドの配布
- ・県や町からの注意喚起、感染症予防対策の啓発

以上の内容で、高齢者の居場所づくり、介護予防に取り組む団体に対して支援を行いました。

③ その他新規資源開発の検討

(1) コロバン体操 2020 の作成

現在の地域の中にある社会資源の状況や居場所の状況を、定期的に保険年金課担当者と共有を行いながら必要となる社会資源の検討を行いました。コロナ禍によりサロン・通いの場などの介護予防に取り組む機会や外出の機会が減っている中で、自宅でできる介護予防取り組みの推進として、【コロバン体操2020】の動画作成を保険年金課・健康推進課と協働し行いました。

作成した【コロバン体操2020】の動画に関しては、1月から美咲テレビで放送している他、令和3年度には希望する通いの場・ふれあいサロン等の団体に配布を行っています。

(2) 健康体操インストラクターの活用について

スポレク柵原が養成している健康体操インストラクターの活用について、地域の居場所（通いの場、サロン等）で活用できるよう、スポレク柵原、行政担当者と協議を行いました。

3. ネットワークの構築(1層、2層協議体)への支援

① 1層(美咲町全体)協議体でのネットワークの構築

行政に対して協議体の開催を働きかけ、今年度開催された美咲町生活支援・介護予防協議体に参加し、美咲町内の社会資源についての情報提供を行いました。

② 2層協議体でのネットワークの構築

1層協議体での協議を受け、2層協議体のメンバー構成、開催方法等検討を行いました。

4. 住民へ支援のニーズと資源の見える化(広報)を図り、支えあいの雰囲気の醸成

① 社会資源リストの作成

リストの作成に向け、把握している社会資源の整理、各活動の状況把握を行いました。その他、新規資源の把握に努めました。

② 住民主体の福祉活動フォーラムや交流会フォーラムの開催を支援する。

フォーラムの開催は難しかったため、社協事業と連携を行い、【ちいきふくし活動新聞】にて各地域の福祉活動の紹介と他地域への啓発に努めました。

5. 研修会等への参加(コーディネーター1層・2層の資質向上や、情報交換等)

『介護予防・生活支援の地域づくりに向けた地域課題解決のプロセスとは』

～令和2年度 地域づくり人材育成プログラム成果報告会～

参加日時 令和3年2月3日(水)13:00～17:10

参加方法 ZOOM

内容:地域づくりに試行錯誤する市町村の実態、「わがまち」の地域課題を発見するに至った方法の紹介等

6. サポートサポートふ・く・しについて

美咲町社会福祉協議会が、少子高齢化や核家族化・単身化が問題視される中、見守り・ちょっとしたお手伝いや相談を地域にかかわるすべての人・団体の力を借り、またそれらの力を活かし、すべての地域住民が、お互いの支えあいのもと、安心して暮らせる地域づくりに努めました。

① 生活支援サポーター数

登録者数	中央 95 名	柵原 78 名	旭 57 名	計 230 名
------	---------	---------	--------	---------

②活動回数

(1) 契約訪問について(活動内容、活動時間、回数表示)

時間・地区別一覧		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
中央	10分										4	6	3	3	16
	20分														0
	30分	1	2	3	6	6	6	6	6	4					40
	30分以上				1			1		1			1		
柵原	10分														0
	20分														0
	30分	55	46	46	53	48	36	35	39	56	64	59	69	606	
	30分以上														
旭	10分									17	15	15	13	60	
	20分													0	
	30分				5	9	8	9	9	3				43	
	30分以上														
月合計		56	48	49	65	63	50	51	54	85	85	77	86	769	

内容別一覧		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内容	ゴミ出し	1	2	3	6	6	6	6	6	8	6	3	3	56
	外出支援													0
	掃除													0
	買い物支援				6	9	8	10	9	21	15	15	14	107
	調理													0
	片づけ・整理													0
	配食サービス	55	46	46	53	48	36	35	39	56	64	59	69	606
	その他（安否確認）													0
合計			48	49	65	63	50	51	54	85	85	77	86	769

(2)令和2年度新規利用実績 3件(買い物付き添い 1件 買い物代行 2件)

(3)新規利用に伴う打ち合わせ・会議 2回

新規・継続ともに生活支援サポーターが円滑に活動を行えるようコーディネートを行った他、新型コロナウイルス感染症対策としてフェイスシールド・手指消毒液の配布と、安全に活動を行ってもらうため、「生活支援サポーター活動の手引き」の配布を行いました。

③サポーター会合の推進

地域で活動する生活支援サポーター同士が情報交換を行い、円滑に活動が行えるようにサポーター会合の推進に努めました。

打穴西地区		原田地区	
開催回数	4 回	開催回数	2 回
参加延人数	57 人	参加延人数	6人
内容	地区の活動状況について 気になる方の見守り情報交換	内容	各地区の気になる方の見守り 情報交換

新規生活支援サポーター養成研修(短期集中講座)今年度は、生活支援サポーター養成講座修了後のサポーターが地域の中で活躍していきやすいように、各地域での養成講座の開催の呼びかけを行いました。今年度は新型コロナウイルスの流行により屋内での活動を控える地域が多く、地域の中で屋内で人が集まることが難しくどこの地域でも今年度の開催は難しいとのことで地区での開催には結びつきませんでした。生活支援サポーターが地域の中で活躍しやすい環境を整備していくため、今後も地域での生活支援サポーター養成講座の開催を促していきます。

(3) 権利擁護・生活推進事業

今年度は新型コロナウイルスの影響で、地域に潜在化していた問題が見えてきました。人と会ったり集まったりする機会が減少する中、問題を抱えている人とのつながりが切れぬよう意識しながら支援に努めました。

また、従来の地域福祉事業に加え、美咲町地域包括支援センター事業、生活困窮者自立相談支援事業、生活困窮者家計改善支援事業との連携のなかで、あらゆる世代への総合相談と層の厚い支援に努めました。特に、障害や病気のみならず、就労できない、他人との交流が苦手など生きづらさを抱えた世帯への支援を福祉、司法関係の機関や地域との連携のなかで検討することができるよう努めました。

1. 美咲町権利擁護センター事業(受託事業)

① 運営委員会開催 6月16日(火) 15:15～16:30

② 支援検討委員会開催 6回開催 偶数月第2火曜日 15:15～16:45

支援検討件数 10件(11名)

内 成年後見制度利用へ 8件(9名)

日常生活自立支援事業利用へ 1件

③ 年間相談件数

分類	電話相談	来所相談	訪問 (他機関同行)	支援会議	同行支援
認知症等高齢者	276	34	260(53)	25	15
知的障がい者等	445	89	82(16)	18	14
精神障がい者等	224	25	81(11)	8	1
その他・不明	15	2	4(3)	0	0
合計	960	150	427(83)	51	30

内新規相談 15件

問合せ 5件

2. 権利擁護講座(市民後見人・生活支援員合同研修会)

月日	内容	講師	参加人数
9月8日(火)	「医療について」	弁護士 高木 成和 氏	14人
12月8日(火)	「障害年金について」	社会保険労務士 工藤 真弓 氏	12人
1月12日(火)	「死後事務について」	社会福祉士 神崎 昌子 氏	10人
2月17日(火)	「相続について」	弁護士 高木 成和 氏	14人

3. 日常生活自立支援事業・成年後見制度意見交換会

権利擁護に関しての情報交換、事例検討等を行いました。

(単位：人)

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加者数	13		17	12	8	14	12		12	10	14	

3-1 日常生活自立支援事業の促進

福祉サービスに関する情報提供、助言、手続きの援助、日常的金銭管理、書類等の預かりサービスを行い、自立した日常生活が送れるよう支援をしました。事業実施にあたり急な入院や福祉サービス利用内容の変更等に対応するため、他機関との連携と生活支援員への報告・連絡体制の充実に努めました。

利用状況

(単位：人)

	認知症	知的 障害者 等	精神 障害者 等	合 計	※参考 内生活保護受給者
令和2年度 新規契約者	2			2	
※解 約	5		1	6	
合計利用者	2	5	3	10	1

生活支援員 登録者数 9人

4. 法人後見事業(4件)

支援検討委員会において、美咲町社会福祉協議会の受任がふさわしいケースと認められ、家庭裁判所から審判を受けました。本人の思いに添った支援ができるように、他機関と連携のもとに後見活動に取り組んでいます。

・施設入所しB型作業所に通う知的障害の30代男性について、令和元年10月1日 市民後見人との複数後見の審判があり、余暇活動の充実の支援等を通して、生きがいをづくりに取り組みました。

・介護者である妻の突然死により、生活ができなくなった70代男性について、令和元年12月20日補助審判があり、施設入所から少しでも自宅で過ごせるように支援しました。

・夫婦で 2 人暮らしをしていたが、夫の突然死により施設入所になった80代女性について、令和3年 12 月 23 日後見審判があり、訪問や他機関と連携しながら、本人が施設で心穏やかに生活できるよう支援しました。

・施設入所している 40 代男性について、津山市社協から依頼があり、令和3年2月16日後見審判がでる。父親や施設と連携を取り、本人と関係が築けるよう支援しました。

5. 金銭管理・財産保全サービス(1 件)

判断能力に関わらず、金銭管理及び書類等の保管が適切に行うことが困難であると認められるものと契約し、当事者が自ら行えるように支援を行いました。

6. ふくしの相談会の実施

県北の権利擁護のネットワークの連携を強化することを目的に、津山市・鏡野町・久米南町と美咲町の4つの社会福祉協議会が共同で開催し、より身近かな専門職による相談の機会の提供とワンストップの相談支援に努めました。

第16回 令和2年9月25日(金) 13:30～15:30
会 場 鏡野町中央公民館
相 談 件 数 5件 (内美咲町分 0 件)
相談員等スタッフ 22名

第17回 令和2年12月14日(月) 13:30～15:30
会 場 津山市総合福祉会館
相 談 件 数 5件 (内美咲町分2件)
相談員等スタッフ 30名

※美咲町は5月に開催予定でしたが、**新型コロナウイルス感染拡大の観点から中止**しました。

7. 心配ごと相談事業

心配ごと相談・行政相談・人権相談等の合同相談所を開設し生活支援に取り組みました。

相談状況

地区	開催回数	相談件数	相談場所
中央	5 回	10 件	中央保健センター (中央ふれあいセンター)
柵原	5 回	14 件	柵原総合文化センター
旭	5 回	20 件	旭町民センター

8. 生活困窮者等支援事業の実施状況

生活に困窮している方への支援として、本人に寄り添いながら就労や生活に関するさまざまな課題を整理し、フォーマル・インフォーマルの支援ネットワークを構築して自立促進を図るよう努めました。また、食料や家電購入が難しい世帯に対して寄付品の提供や家屋修繕費の補助事業を企画するなど、幅広い生活ニーズに対応できるように取り組みました。

8-1 生活困窮者自立相談支援事業(受託)

年間相談件数

新規相談	電話相談	来所相談	訪問(同行支援含む)	支援会議	他機関との 連絡調整	プラン(評価含 む)
57 件(世帯)	435 件	162 件	228 件	33 件	290 件	10 件

※プランの内、自立相談支援事業による就労支援 2 件
継続的な見守り 2 件

家計改善支援事業	4 件
住居確保給付金の利用	1 件
評価(継続支援及び終結)	1 件

8-2. ぷらっと事業

引きこもりや障害など、さまざまな要因で社会とのつながりが薄れ、生きづらさを抱えた人が社会に順応していくためには、まずは自分のペースで家の外に出ることから始める必要がある。

コロナ禍で活動するのに厳しい状況ではありましたが、地域住民と連携し、就労に向けての意識づくりをはじめ、就職までの支援に努めました。

○実施状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
実施回数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2	5 回
参加人数	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2	5 人

内容～地域(個人宅)での清掃、履歴書作成、面接練習など

8-3. 食料支援及びリサイクル事業の取り組み

生活に困窮している方を対象に地域の方から寄付していただいた、お米・生活用品・家電製品・自転車等の無償提供を行い、自立した生活が送れるように支援しました。

食料支援	29 件
衣料・日用品支援	2 件
家電リサイクル	8 件
自転車貸出	0 件

8-4. 赤い羽根 小規模な家屋修繕等の環境整備事業

障がいのある方や生活保護に至る前の状態である生活困窮者の方等、生活に余裕がない世帯に対して、家屋修繕の材料費の一部を負担することで生活環境を整え、住み慣れた自宅で安心して生活できるように支援しました。修繕には、岡山県建設労働組合の方にご協力いただき、毎年行われている奉仕活動に併せて実施していただきました。

○利用件数…障がい者のみ世帯 1 件

○修繕内容…自宅内部の床の張り替え

9. 生活福祉資金貸付事業(県社協の事業)の状況

低所得者・障害者・高齢者等の生活困窮の世帯に対し、生活福祉資金の貸付・償還等の必要な援助指導を行うことを通して、その自立を支援することに努めました。

①貸付状況

※新規貸付	償還済	利用件数
0 件	0 件	11 件

②特例貸付状況

緊急小口資金	総合支援資金 (初回)	総合支援資金 (延長)	総合支援資金 (再貸付)
43 件	26 件	16 件	10 件

10. 福祉資金貸付事業(美咲町社協実施制度)の状況

生活困窮者を対象に一時的な貸付を行う場合に、生活費等の貸付を行うとともに、生活相談や日常生活援助指導を行いました。また、滞納者には福祉事務所等他機関と連携し償還指導に努めました。

貸付・償還状況

新規貸付	償還済	利用件数(3月末現在)
3件	2件	12件

※同一人物への貸付、同一人物からの償還完了に関しては1件として計上

償還指導状況

日付	送付件数	備考
8月4日	10件	※督促状送付対象者10名 訪問又は郵送にて通知及び償還指導を行う。
2月3日	11件	※督促状送付対象者6名 ※残高確認書送付対象者5名 訪問又は郵送にて通知及び償還指導を行う。

(4) その他福祉事業の推進

①福祉バス運行事業

美咲町の地域福祉の向上と地域福祉活動の一翼を担うことを目的として、社協の構成団体やボランティア・NPO 団体、当事者団体、社協に登録のあるふれあいサロンや子育てサロン等に福祉バスを貸し出して、福祉を目的とする研修や交流活動等の活動支援を行いました。

コロナ禍であり、外出支援の自粛をお願いした期間がありました。

○利用実績

(単位:件)

老人クラブ	身障協会	更生保護	遺族会	サロン	VO団体	通いの場	社協	計
0	0	0	0	2	0	0	0	2

*サロンについては、1団体年1回の貸出とする。

②福祉団体活動支援事業

町の補助により、福祉団体の自主的運営に対して助成を行い、自主活動の支援を行いました。

支援団体:4団体

(美咲町身体障害者福祉協会・美咲町遺族会・美咲町保護司会・美咲町更生保護女性会)

③広報活動の促進

広報紙「社協だより」を毎月発行し、社協が実施する福祉事業について周知を図るとともに、福祉活動や福祉情報等を提供してきました。また、ホームページ・フェイスブックを活用して情報をタイムリーに幅広く発信していく事にも努めてきました。

(5) 包括的支援事業

1. 包括的支援事業

①第1号介護予防支援事業(介護予防ケアマネジメント事業)

- ①-Ⅰ 介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)は、介護認定要支援者及び基本チェックリストの記入内容が事業対象の基準に該当した方に対し、介護予防及び自立支援を目的として、その心身の状況や置かれている環境、その他の状況に応じて必要な支援に努めました。
- ①-Ⅱ 75歳以上で福祉サービスを利用していない独居高齢者や高齢者世帯を訪問し、生活の実態把握を行い、介護予防及び福祉サービス等が必要と認められる場合はその支援に努めました。また、訪問以外でも社会福祉協議会が開催支援する小地域ケア会議に出席し、民生委員や地区役員から要援護者等の状況について情報共有し、支援の検討を行いました。
- ①-Ⅲ 要介護状態になることを予防するため、特に困難事例については、個別ケア会議等で多職種から助言をいただき、介護予防ケアプランを作成するうえで、介護予防事業及び社会資源等の適切なサービスが包括的・効率的に実施されるよう支援に努めました。

8回開催(4回コロナ感染予防対策で中止)

②総合相談支援事業

高齢者やその家族の介護の悩みや福祉、健康、介護予防等の困りごとに対して、よりよい解決ができるように、電話や訪問等により相談に応じ、包括支援センターの専門職(主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士等)が連携しながら、総合的な支援に努めました。

(相談件数等 総合相談件数及び主な事業、会議、研修実績一覧参照)

- ②-Ⅰ 電話で相談があった場合は積極的に訪問等の手段により実態把握を行い、また、関係機関から情報収集するなど、支援が必要なケースに早期に対応できるよう努めました。
- ②-Ⅱ 複雑多様な相談内容について、行政及び関係機関等と連携し、一体的な支援に努めました。

③権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは十分に問題が解決できない困難な状況にある高齢者が、生活を維持し安心して生活することができるよう、行政及び権利擁護センター・関係機関等と連携し、高齢者の権利擁護に必要な支援に努めました。

(対応件数等 総合相談件数及び主な事業、会議、研修実績一覧参照)

③-Ⅰ 高齢者虐待の防止及び対応

高齢者虐待の予防と早期発見・早期対応・再発防止を図るため、保険年金課及び福祉事務所・権利擁護センター・関係機関等と連携し、取り組みました。

今年度は、介護支援専門員から高齢者虐待の疑いケースとして相談を受けることが多くあり、虐待防止視点での支援に努めました。高齢者虐待の対応としては、相談受付後に事実確認に努め、コア会議を開催し、虐待有無や緊急性の判断及び役割分担をして対応しました。特に困難事例については、契約弁護士や権利擁護センター等に相談・連携しながら対応しました。

また、介護支援専門員や介護保険事業所職員等が虐待の疑いがある高齢者の異変等に気づき、早期発見・防止できるよう高齢者虐待防止研修会を開催しました。

○高齢者虐待(疑い)相談受付実件数 14件

○高齢者虐待防止研修会

開催日:令和2年8月21日(火)18:00~20:00

講義・演習:「虐待ケースの支援」

講師:真木佐江子ソーシャルワーカー事務所 社会福祉士 真木佐江子氏

③-Ⅱ 成年後見制度の活用促進

成年後見制度利用等の相談を受けた場合、権利擁護センター及び福祉事務所等の関係機関と連携しながら支援に努めました。

成年後見制度を幅広く周知させるため、関係機関とともに広報啓発を図りました。

③-Ⅲ 権利擁護業務アドバイザー会議の開催

包括支援センター及び福祉事務所・権利擁護センター・行政関係課等の困難事例について、岡山パブリック法律事務所の高木弁護士がアドバイザーとなり、困難事例の解決に向けた支援や高齢者虐待事例の対応について、毎月検討しました。

③-Ⅳ 老人福祉施設への措置支援

虐待等の理由で老人福祉法上の措置が必要と判断した場合、保険年金課及び福祉事務所等と協議し、措置入所につなげていますが、令和2年度は、措置入所になったケースはありませんでした。

③-Ⅴ 消費者被害防止

地域住民に対し、消費者被害に関する情報を周知するとともに、支援が必要な高齢者については速やかに対応するため関係機関と情報共有し、早期発見・防止に努めました。

○開催日:令和2年12月8日(火)

柵原ふれあい学級

令和2年12月16日(水)

中央亀寿大学

テーマ:「近年多発している消費者被害の手口を知り予防や対応について学ぶ」

講師:美咲町地域包括支援センター、美咲町社会福祉協議会地域福祉課

④包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

地域の高齢者が住みなれた地域で安心して生活することができるよう、介護支援専門員の連携及び多種職や関係機関と連携を図り、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントを実現するため、介護支援専門員に後方的支援に努めました。

④-Ⅰ 日常的な個別指導・相談

日常的業務に対し、主任介護支援専門員が専門的見地から指導と支援に努めました。

④-Ⅱ 事例検討会の実施

介護支援専門員から支援困難事例を提示し、美作大学 堀川涼子教授からアドバイスを受けながら、その事例の検討や支援の組み立てを学ぶことにより、介護支援専門員の資質向上及び相談援助技術向上に努めました。

○開催日:令和2年9月14日(月)

※6月、2月はコロナ感染症予防対策で中止。

④-Ⅲ 美咲町介護支援専門員へのアンケート調査の実施

在宅介護を支える介護支援専門員がどのような課題をもち介護支援専門員として技術向上を図るために何を学びたいかを把握し主任介護支援専門員として研修実施の参考となるようアンケート実施をおこないました。

○実施日：令和2年2月

○対 象：美咲町内の介護支援専門員

④-IV 介護支援専門員意見交換会の実施

町内の介護支援専門員が顔を合わせアンケート結果を共有し意見や情報交換を通じて連携を図りました。

○実施日：令和3年2月10日（水）

○対 象：美咲町内の介護支援専門員

④-IV 美咲町介護給付適正化事業（行政主体）の推進

保険年金課担当職員と合同で、岡山県介護支援専門員協会堀部徹会長をアドバイザーとして、町内の介護支援専門員の居宅サービス計画表が適正に作成出来ているかの点検（年1回、2事業所）を行いました。

総合相談件数及び主な事業、会議、研修実績一覧

（令和3年3月末現在）

主な事業・会議等	回数等
地域包括支援センター運営協議会 委員：公益代表、介護サービス事業者代表、学識経験者、権利擁護事業関係、被保険者代表 ※事業計画・報告及び予算・決算等について協議	0回
総合相談支援事業（延べ対応件数） ・介護相談 662 件 ・福祉相談（介護相談除く 障がい、生活困窮等） 100 件 ・介護予防 17 件 ・認知症 295 件 ・健康医療 326 件 ・虐待、権利擁護 186 件 ・その他 113 件	1,637件
虐待・権利擁護対応内訳（延べ対応件数） ・成年後見制度の活用促進 5 件 ・日常生活自立支援事業利用の支援 1 件 ・高齢者虐待の相談及び対応（電話対応等含む） 112 件 （老人福祉施設等措置の支援） 0 件 （契約入所移行等の支援） 0 件 （介護支援専門員等への支援、その他の支援） 1 件 ・消費者被害防止対応 1 件	204件

高齢者虐待コアメンバー会議	14回
ケース会議(開催実数)	28回
権利擁護業務アドバイザー会議(毎月開催)	11回
(延べ件数)	18件
高齢者虐待防止研修会	1回
消費者被害防止研修会	2回
地域包括ケア会議(4ヵ月に1回)	3回
中央・旭・柵原地域ケア会議(3地区×6回)	18回
小地域ケア会議(延べ参加回数)	64回
包括的・継続的マネジメント事業	
介護支援専門員に対する個別支援(延べ件数)	38回
介護支援専門員事例検討会	2回
介護支援専門員研修会	1回
美咲町介護給付適正化事業(プランチェック2回・町主催研修1回)	3回
実態把握訪問	59件

2.事業・会議等

①地域包括支援センター運営協議会の開催

地域包括支援センターの運営における事業の実施状況や事業計画等について、協議会メンバーが一同に集い、それぞれの活動の枠を超えて地域の課題を共有し、解決に向けた話し合いや連絡調整、連携・協力が行われる場となることで、地域の課題解決を推進する役割を担っているため、運営協議会の開催は必要と考えます。

② 在宅医療・介護連携事業の推進(行政主体)

地域包括ケアシステムの構築のためには、医療と介護の連携は重要であり、行政及び関係機関と連携し、在宅医療・介護連携推進協議会で施策及び事業を推進しました。

協議事項について必要な検討を行うため、医療関係者及び行政関係課・地域包括支援センター・関係機関等で部会を設置し、医療介護連携、認知症対策、生活支援体制等について協議・検討を行いました。

次の項目を重点目標として推進しました。

- i 地域の医療・介護資源の把握
- ii 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- iii 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- iv 医療・介護関係者の情報共有の支援
- v 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- vi 医療・介護関係者の研修
- vii 地域住民への普及啓発
- viii 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携

②-I 在宅医療・介護連携部会 毎月参加

③地域ケア会議等の充実

③-Ⅰ 地域ケア会議の開催

日常生活圏域(中学校区)で、地域の介護保険事業所等の関係者から構成し、地域課題や個別支援等について協議しました。

開催日	地区	議題
令和2年8月3日	中央	① 美咲町地域包括ケアシステムについて ② 新型コロナウイルス感染症の高齢者の生活への影響と対応について
令和2年8月4日	柵原	
令和2年8月5日	旭	
令和2年10月19日	中央	① 感染症が発生した時の対応について ② 地域活動(サロン・通いの場など)の再開に向けて
令和2年10月20日	柵原	
令和2年10月22日	旭	
令和3年2月1日	柵原	独居高齢者の支援について ～ 事例を通して地域の課題を考える ～
令和3年2月2日	旭	
令和3年2月3日	中央	

③-Ⅱ 個別ケア会議の開催

介護認定要支援者及び事業対象者の自立支援に資する計画となるよう包括支援センター職員が作成する個別ケースのアセスメントシートとサービス計画を提示し、多職種(医師・薬剤師・理学療法士・管理栄養士等)による専門的視点から、支援目標及び福祉サービス・社会資源等について、検討を行いました。

また、検討した事例について、3ヵ月または半年経過後の状態を提示し、再度、適切な支援計画となるよう検討を行いました。

③-Ⅲ 小地域ケア会議への参加

社会福祉協議会が開催支援する小地域ケア会議(81自治会の内、60自治会)に参加し、地域課題及び個別課題の支援等について、情報共有及び検討を行いました。

小地域ケア会議で把握した個別課題等については地域ケア会議へと展開し、その支援方法等について情報共有・検討を行いました。

④ 地域包括ケア会議(行政主体)への参画

住み慣れた地域で自立した生活を最期まで送ることができるように、高齢者・障がい者・子ども等、全ての世代で支え・支えられるまちづくりが求められており、介護・育児・障がい・生活困窮などに対応した包括的な生活支援を切れ目なく提供できる体制(地域包括ケアシステム)づくりを推進するため、行政及び地域包括支援センター、社会福祉協議会、関係機関とともに地域課題及び展開している事業等について共有・協議しました。

○第1回地域包括ケア会議

開催日:令和2年12月24日(木)

議題:i 地域包括ケアシステムについて

ii 包括支援センターの取り組みについて

iii コロナ禍で地域活動の再開に向けての検討について

iv 買い物サロンについて

v 認知症事業について

○第2回地域包括ケア会議

開催日:令和3年3月10日(水)

議題:i 美咲町の目指す姿(福祉の地域づくり)について

- ii 地域包括ケアシステムの8つの機能について
- iii 独居高齢者の支援について(地域ケア会議から)
- iv 小地域福祉活動の報告について

⑤ 認知症総合支援事業(行政主体)

認知症の人や家族が安心して暮らせる優しいまちづくりを目指し、認知症の状態に応じた適切な医療や介護サービスが提供される仕組みづくり及び認知症の人や家族に対する総合的な支援に努めました。

⑤-I 認知症事業連絡会への参画

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、行政及び関係機関、団体等と連携するとともに、認知症事業についての情報共有及び検討を行い、認知症に関わる事業や啓発活動を推進しました。

⑤-II 認知症啓発活動の推進

認知症について正しい知識を持ち、認知症の人の視点に立って認知症への理解を深めることを目的に啓発動画や認知症安心ガイド等を活用して、啓発活動に取り組みました。

また、地域住民一人ひとりが地域で何ができるかを考え、できることから行動に移すきっかけづくりを推進しました。

○9月アルツハイマー月間に合わせて啓発活動

「笑顔のお届け便」の開催会場で、「認知症 ともに暮らせる 美咲町」ののぼりを立て啓発を行うとともに、標語入りマスクを配り、認知症への理解深めてもらうために、啓発活動にとりくみました。

○認知症予防体操の動画作成(生活支援体制整備事業の一環)

介護予防体操動画作成時に、「認知症予防体操」の動画を作成し、みさきテレビで放映をしました。

⑤-III 認知症カフェ(オレンジカフェ)の推進

認知症の人やその家族・地域住民・専門職等、誰もが住み慣れた地域でいつまでもその人らしい生活ができるように、仲間づくりや生きがい支援、介護する家族の負担軽減、認知症や介護の相談支援の場として、オレンジカフェの設置運営支援に努めました。

しかし、令和2年度は、コロナ感染拡大防止に伴い、オレンジカフェを開催することが困難な状況であり、計画は行いましたが、開催をすることはできませんでした。

そのため、12月に、令和元年度に、「オレンジカフェ」に参加をしていただいた98人の皆さんに、「お便り」を送るとともに、「認知症予防プリント」を同封し、自宅でできる認知症予防に取り組んでいただきました。

⑤-IV 認知症見守り声かけ訓練の開催支援

認知症の人の気持ちに配慮した声かけや見守り方法を学び、地域でどのように見守っていくのか、または支えあっていくのかを考えるきっかけとなるように、自治会単位で実地訓練を行いました。

開催予定日	場所	対象	参加者数
令和2年11月9日	南公民館	小地域ケア会議メンバー	10名程度
令和2年11月10日	境公民館	サロン、老人会メンバー	20名程度

※上記の地域での「認知症声かけ見守り訓練」を予定しておりましたが、**コロナ感染拡大防止のため中止**となりました。

⑤-V 認知症サポーター養成講座の開催

認知症地域支援推進員等による地域支援体制の構築とともにキャラバンメイト(認知症サポーター養成講座講師)が地域や圏域・職域等において、地域住民に認知症の正しい理解を広めるため、認知症サポーター養成講座を開催しました。

開催日	団体等	受講者数
令和2年6月17日	境サロン	18人
令和2年8月26日	角石祖母サロン	8人
令和2年10月27日	旭小学校 6 年生	10人
令和2年11月9日	中国銀行久米支店 ①	10人
令和2年11月11日	中国銀行久米支店 ②	
令和3年2月15日	三金や	10人

⑤-VI 認知症初期集中支援チームによる支援

認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族へ早期診断・早期対応、日常生活上の助言等の支援に努めました。

⑤-VII 認知症相談日の設置(毎月第一火曜日)

「認知症のことをどこに相談したらよいかわからない」という声があり、相談日を設定することで、より住民にわかりやすく相談しやすい体制を整えました。

また、早期相談・早期対応につながるにより重症化予防を目指しました。相談日は毎月第1火曜日午前中に保健センターで、包括支援センター職員が相談を受け、状態に応じて各種関係機関と連携しながら支援を行いました。

開催日	開催場所	相談件数 ()内は再掲
令和2年6月	保健センター	1件
令和2年7月	保健センター	3件
令和2年8月	保健センター	3件
令和2年9月	保健センター	1件
令和2年 10 月	保健センター	2件
令和2年 11 月	保健センター	2件 (1件)
令和2年 12 月	保健センター	2件 (1件)
令和3年1月	保健センター	1件 (1件)
令和3年2月	保健センター	1件 (1件)

令和3年3月	保健センター	3件（1件）
合 計		19 件（5件）

⑥ みまさか認知症疾患医療センター・認知症疾患医療連絡協議会への参加

医療と介護を中心とした臨床倫理的課題の克服を目指し、尊厳や人権を重視した支援が行えるよう、みまさか認知症疾患医療センター（積善病院）が開催する連絡協議会及び研修会等に参加し、相談支援の質の向上を図りました。

⑥-I 臨床倫理研修会（年3回 参加）

⑥-II 認知症ケア推進会議（年1回 参加）

3.指定介護予防支援事業

介護保険における予防給付の対象となる要支援者及び事業対象者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、その心身の状況と置かれている環境等を勘案し、介護予防サービス計画を作成するとともに、当計画に基づく指定介護予防サービス等の提供が確保されるよう、介護予防サービス事業者等の関係機関と連絡調整を行いました。

サービス計画を作成する際、困難と思える事例については、多職種で構成する個別ケア会議でアドバイスを受ける等、適切なサービス計画を作成するよう努めました。

① 介護予防支援サービス計画作成実績

①-I 介護予防支援サービス計画作成実績（介護報酬請求件数）

（単位:件数）

審査月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
件数	123	113	120	110	112	113
（委託）	（2）	（2）	（2）	（3）	（4）	（6）
審査月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	117	119	120	112	117	112
（委託）	（6）	（6）	（7）	（7）	（8）	（8）

①-II 介護予防支援サービス相談支援

（単位:件数）

	実績
訪問・面接	1,195 件
電話	1,030 件
サービス担当者会議	104 件

Ⅲ.介護保険事業

美咲町で暮らす誰もが、安心して暮らし続けることができるよう、通所介護・訪問介護・居宅介護事業・地域密着型特別養護老人ホーム事業の運営に積極的に取り組みました。

1.通所介護事業(デイサービス事業)

日常生活に支援が必要な人、要介護状態にある人が、出来る限り住み慣れた地域・我が家において、安心して日常生活を過ごすことが出来るよう、介護保険法による通所介護事業を積極的に取り組みました。また、利用者の心身の状況に応じた通所介護計画書を作成し、多職種との連携を図り、利用者支援に努めました。

(事業実施事業所)

(1)美咲町中央ふれあいセンター

①事業実施の概要

- ・利用定員 40 人
- ・営業日 月曜日～土曜日(12月29日～1月3日を除く)
- ・営業時間 午前9時～午後5時
- ・職員体制 常勤職員5名、非常勤職員9名
管理者1名(兼務)、生活相談員3名(兼務3名)、看護職員2名(兼務2名)、
機能訓練指導員2名(兼務2名)、介護職員12名(兼務5名)、
介護助手1名、調理員3名(兼務2名)

②事業実施状況

i)介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。

年 月	営業日	利用者 数合計	現行相当	要介護 Ⅰ～Ⅱ	要介護 Ⅲ～Ⅳ	1日 平均
02・04	26 日	941 人	69 人(7.3%)	589 人(62.6%)	283 人(30.1%)	36.2 人
02・05	26 日	785 人	67 人(8.5%)	488 人(62.1%)	230 人(29.4%)	30.2 人
02・06	26 日	1,018 人	65 人(6.4%)	661 人(64.9%)	292 人(28.7%)	39.2 人
02・07	27 日	994 人	62 人(6.2%)	655 人(65.9%)	277 人(27.9%)	36.8 人
02・08	26 日	980 人	73 人(7.4%)	629 人(64.2%)	278 人(28.4%)	37.7 人
02・09	26 日	1,019 人	77 人(7.6%)	634 人(62.2%)	308 人(30.2%)	39.2 人
02・10	27 日	1,071 人	69 人(6.4%)	679 人(63.4%)	323 人(30.2%)	39.7 人
02・11	13 日	457 人	28 人(6.1%)	284 人(62.2%)	145 人(31.7%)	35.2 人
02・12	24 日	787 人	57 人(7.3%)	508 人(64.5%)	222 人(28.2%)	32.8 人
03・01	24 日	792 人	58 人(7.3%)	524 人(66.2%)	210 人(26.5%)	33.0 人
03・02	24 日	837 人	63 人(7.5%)	542 人(64.8%)	232 人(27.7%)	34.9 人
03・03	27 日	976 人	79 人(8.1%)	638 人(65.4%)	259 人(26.5%)	36.1 人
合 計	296 日	10,657 人	767 人(7.2%)	6,831 (64.1%)	3,059(28.7%)	36.0 人

(2)美咲町柵原デイサービスセンターかしのき荘

①事業実施の概要

- ・利用定員 25 人
- ・営業日 月曜日～土曜日(12 月 29 日～1 月 3 日を除く)
- ・営業時間 午前 9 時～午後 5 時
- ・職員体制 常勤職員 4 名、非常勤職員 8 名
管理者 1 名(兼務)、生活相談員 3 名(兼務 3 名)、看護職員 2 名(兼務 2 名)、
機能訓練指導員 2 名(兼務 2 名)、介護職員 12 名(兼務 8 名)、
調理員 3 名(兼務 3 名)

②事業実施状況

i) 介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。

年 月	営業日	利用者 数合計	現行相当	要介護 Ⅰ～Ⅱ	要介護 Ⅲ～Ⅳ	1日 平均
02・04	26 日	561 人	40 人(7.1%)	397 人(70.8%)	124 人(22.1%)	21.6 人
02・05	26 日	479 人	35 人(7.3%)	334 人(69.7%)	110 人(23.0%)	18.4 人
02・06	26 日	549 人	48 人(8.7%)	371 人(67.6%)	130 人(23.7%)	21.1 人
02・07	27 日	526 人	47 人(8.9%)	357 人(67.9%)	122 人(23.2%)	19.5 人
02・08	26 日	533 人	44 人(8.3%)	369 人(69.2%)	120 人(22.5%)	20.5 人
02・09	26 日	560 人	49 人(8.8%)	397 人(70.9%)	114 人(20.4%)	21.5 人
02・10	27 日	622 人	51 人(8.2%)	420 人(67.5%)	151 人(24.3%)	23.0 人
02・11	25 日	578 人	42 人(7.3%)	366 人(63.3%)	170 人(29.4%)	23.1 人
02・12	24 日	540 人	40 人(7.4%)	342 人(63.3%)	158 人(29.3%)	22.5 人
03・01	24 日	516 人	37 人(9.5%)	335 人(64.9%)	144 人(27.9%)	21.5 人
03・02	24 日	531 人	41 人(7.7%)	344 人(64.8%)	146 人(27.5%)	22.1 人
03・03	27 日	599 人	47 人(7.8%)	391 人(65.3%)	161 人(26.9%)	22.29 人
合 計	308 日	6,594 人	521 人(7.9%)	4,423(67.1%)	1,650(25.0%)	21.4 人

(3)美咲町福祉の里 あさひが丘

①事業実施の概要

- ・利用定員 25 人
- ・営業日 月曜日～土曜日(12 月 29 日～1 月 3 日を除く)
- ・営業時間 午前 9 時～午後 5 時
- ・職員体制 常勤職員 3 名、非常勤職員 8 名
管理者 1 名(兼務)、生活相談員 3 名(兼務 3 名)、看護職員 2 名(兼務 2 名)、
機能訓練指導員 2 名(兼務 2 名)、介護職員 7 名(兼務 6 名)、介護助手 1 名、
調理員 2 名(兼務 1 名)、運転職員 2 名

②事業実施状況

i)介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。

年 月	営業日	利用者 数合計	現行相当	要介護 Ⅰ～Ⅱ	要介護 Ⅲ～Ⅳ	1日 平均
02・04	26 日	488 人	86 人(17.6%)	277 人(56.8%)	125 人(25.6%)	18.8 人
02・05	26 日	434 人	55 人(12.7%)	272 人(62.7%)	107 人(24.7%)	16.7 人
02・06	26 日	495 人	84 人(17.0%)	289 人(58.4%)	122 人(24.6%)	19.0 人
02・07	27 日	546 人	96 人(17.6%)	326 人(59.7%)	124 人(22.7%)	20.2 人
02・08	26 日	525 人	69 人(13.1%)	332 人(63.2%)	124 人(23.6%)	20.2 人
02・09	26 日	512 人	71 人(13.9%)	330 人(64.5%)	111 人(21.7%)	19.7 人
02・10	27 日	541 人	76 人(14.0%)	350 人(64.7%)	115 人(21.3%)	20.0 人
02・11	25 日	497 人	70 人(14.1%)	323 人(65.0%)	104 人(20.9%)	19.9 人
02・12	24 日	470 人	68 人(14.5%)	300 人(63.8%)	102 人(21.7%)	19.6 人
03・01	24 日	449 人	62 人(13.8%)	289 人(64.4%)	98 人(21.8%)	18.7 人
03・02	24 日	456 人	62 人(13.6%)	298 人(65.4%)	96 人(21.1%)	19.0 人
03・03	27 日	522 人	71 人(13.6%)	333 人(63.8%)	118 人(22.6%)	19.3 人
合 計	308 日	5,935 人	870 人(14.6%)	3,719(62.7%)	1,346(22.7%)	19.3 人

2.訪問介護事業(ホームヘルプ事業)

日常生活に支援が必要な人、要介護状態にある人が、出来る限り住み慣れた地域・我が家において、安心して日常生活を過ごすことが出来るよう、介護保険による訪問介護事業に積極的に取り組みました。また、美咲町からの委託事業である「生活管理指導事業」にも取り組みました。さらに障害者総合支援事業による障がい者の訪問介護サービス事業にも積極的に取り組みました。

(事業実施事業所)

(1)ヘルパーステーション美咲

①事業実施の概要

・営業日 月曜日～日曜日

・営業時間 8:00～18:30

・職員体制 常勤職員 4 名、非常勤職員 9 名

管理者 1 名(兼務)、管理者代理 1 名(兼務)、サービス提供責任者 4 名(兼務 4 名)、
訪問介護職員 13 名(兼務 4 名)

②事業実施状況

i)介護保険事業

次のとおり、介護保険による事業を実施しました。

年 月	営業日	利用件数 合計	現行相当	要介護 Ⅰ～Ⅱ	要介護 Ⅲ～Ⅳ	1日 平均
02・04	30 日	928 件	57 件(6.1%)	476 件(51.3%)	395 件(42.6%)	30.9 件
02・05	31 日	934 件	70 件(7.5%)	465 件(49.8%)	399 件(42.7%)	30.1 件
02・06	30 日	980 件	51 件(5.2%)	493 件(50.3%)	436 件(44.5%)	32.7 件
02・07	31 日	915 件	48 件(5.2%)	442 件(48.3%)	425 件(46.5%)	29.5 件
02・08	31 日	964 件	44 件(4.6%)	441 件(45.7%)	479 件(49.7%)	31.1 件
02・09	30 日	971 件	43 件(4.4%)	442 件(45.5%)	486 件(50.1%)	32.4 件
02・10	31 日	989 件	50 件(5.1%)	470 件(47.5%)	469 件(47.4%)	31.9 件
02・11	30 日	816 件	41 件(5.1%)	388 件(47.5%)	387 件(47.4%)	27.2 件
02・12	31 日	870 件	44 件(5.0%)	400 件(46.0%)	426 件(49.0%)	28.1 件
03・01	28 日	731 件	40 件(5.4%)	358 件(49.0%)	333 件(45.6%)	26.1 件
03・02	28 日	768 件	46 件(6.0%)	396 件(51.6%)	326 件(42.4%)	27.4 件
03・03	31 日	844 件	52 件(6.2%)	417 件(49.4%)	375 件(44.4%)	27.2 件
合 計	362 日	10,710 件	586 件(5.5%)	5,188(48.4%)	4,936(46.1%)	29.6 件

ii)生活管理指導事業

介護保険の対象にならない高齢者の介護予防や日常生活を支援するため、次のとおり、生活管理訪問介護サービスを実施しました。

事業名	営業日	利用件数
生活管理指導	44 日	44 件

iii)障害者総合支援事業

障がい者への訪問介護サービスとして、次のとおり、サービスを実施しました。

事業名	営業日	利用件数
障害者総合支援	311 日	597 件

3.居宅介護支援事業(ケアマネジメント事業)

介護保険によるサービスが適切に利用でき、在宅での生活を支援していくため、居宅介護支援事業に積極的に取り組みました。

(事業実施事業所)

(1)中央居宅介護支援事業所 常勤職員 4 名

管理者 1 名(兼務)、介護支援専門員 4 名(兼務 2 名)

(2)柵原居宅介護支援事業所 常勤職員 2 名

管理者 1 名(兼務)、介護支援専門員 2 名(兼務 1 名)

(3)旭 居宅介護支援事業所 常勤職員 2 名

管理者 1 名(兼務)、介護支援専門員 2 名(兼務 1 名)

①事業実施の状況

i)介護保険事業

事業所	利用件数	要介護 Ⅰ～Ⅱ	要介護 Ⅲ～Ⅴ	要介護 月平均
中央居宅介護支援事業所	1,664 件	1,226 件	438 件	138.7 件
柵原居宅介護支援事業所	844 件	612 件	232 件	70.3 件
旭居宅介護支援事業所	841 件	570 件	271 件	70.1 件

ii)訪問調査・予防プランの実施

町からの委託を受け、介護保険の要介護認定のための訪問調査等にも取り組みました。

・訪問調査件数 112 件(中央 62 件、柵原 5 件、旭 45 件)

・予防プラン件数 36 件(中央 36 件、柵原 0 件、旭 0 件)

4.施設サービス事業(地域密着型特養事業)

住み慣れた地域で、可能な限り安心して日常生活が送れるよう、地域密着型特別養護老人ホームの運営に積極的に取り組みました。

(事業実施事業所)

(1) 地域密着型特別養護老人ホーム あさひが丘

①事業実施の概要

- ・長期入所利用定員 25 名
- ・短期入所利用定員 4 名
- ・居室体制 個室 9 室 2 人部屋 10 室
- ・職員体制 常勤職員 12 名、非常勤職員 13 名
施設長 1 名、生活相談員 2 名(兼務 2 名)、看護職員 3 名(兼務 3 名)、
介護支援専門員 2 名(兼務 2 名)、介護職員 12 名(兼務 3 名)、
介護助手 4 名、栄養士 2 名(兼務 2 名)、調理職員 4 名(兼務 2 名)、
宿直職員 3 名

⑥ 事業実施の状況

形 態	延べ利用者数	要介護Ⅲ	要介護Ⅳ	要介護Ⅴ
長期入所	8,882 人	2,097 人	3,808 人	2,977 人
短期入所	90 人	5 人	0 人	85 人

○長期入所 年間稼働率： 97.3% 1 日平均人数： 24.3 人 平均人数前年比：104.7%

○短期入所 年間稼働率： 6.2% 1 日平均人数： 0.2 人 平均人数前年比： 10.5%